

2025年4月7日

朝日ライフ アセットマネジメント株式会社

ハリス グローバル バリュース株ファンド(年1回決算型)/(年4回決算型)/(資産成長型)の 基準価額の変動について

平素より、「ハリス グローバル バリュース株ファンド(年1回決算型)/(年4回決算型)/(資産成長型)」(以下、当ファンド)をご愛顧賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、4月4日(現地)の海外株式市場は、トランプ米大統領が発表した相互関税に対する主要各国の報復措置で貿易戦争が激化すると懸念から、2日連続で急落する展開となりました。中国財政省が、米国への対抗措置として10日(現地)から全ての米国製品に対し、2日(現地)にトランプ米大統領が発表した中国への追加関税と同率の34%の税率を適用したことが嫌気されたほか、英国、オーストラリア、イタリアの首脳が米国の関税措置への対応を協議したと伝わったことを受け、貿易戦争が激化すると懸念が高まりました。また、FRB(米連邦準備理事会)のパウエル議長が、ビジネスジャーナリスト向けのイベントで講演し、新たな関税措置は「予想以上に大きく」、インフレや成長などへの影響も同様に予想以上となる公算が大きいという見解を示したことも市場心理を悪化させたものと考えられます。一方、為替市場では、円は米ドル、ユーロなど主要通貨に対して円高となりました。このような中、4月7日のハリス グローバル バリュース株ファンド(年1回決算型)の基準価額は前営業日(4月4日)と比べ965円下落(▲5.97%)の15,200円、ハリス グローバル バリュース株ファンド(年4回決算型)の基準価額は前営業日(同上)と比べ606円下落(▲5.95%)の9,576円、ハリス グローバル バリュース株ファンド(資産成長型)の基準価額は前営業日(同上)と比べ762円下落(▲5.95%)の12,048円となりました。

表① 主要各国株価指数

| | 2025/4/3 | 2025/4/4 | 騰落率 |
|-----------------|-----------|-----------|--------|
| 米国(NYダウ) | 40,545.93 | 38,314.86 | ▲5.50% |
| 米国(NASDAQ) | 16,550.61 | 15,587.79 | ▲5.82% |
| 欧州(ユーロ・ストックス50) | 5,113.28 | 4,878.31 | ▲4.60% |
| 英国(FT100) | 8,474.74 | 8,054.98 | ▲4.95% |

※基準価額への反映を考慮して前営業日の値を表示しています。

表② 主要通貨の対円為替レート

| | 2025/4/4 | 2025/4/7 | 騰落率 |
|-------|----------|----------|--------|
| 米ドル | 146.03 | 145.78 | ▲0.17% |
| カナダドル | 103.80 | 102.39 | ▲1.36% |
| ユーロ | 161.51 | 159.85 | ▲1.03% |
| 英ポンド | 191.36 | 188.22 | ▲1.64% |

※対顧客電信売買相場仲値(TTM)を表示しています。

当ファンドは実質的な運用をマザーファンドで行っています。マザーファンドの外貨建資産の運用指図に関する権限につきましては、米ハリス・アソシエイツ・エル・ピー(本社はイリノイ州シカゴ。以下「ハリス・アソシエイツ社」といいます。)に運用を委託しています。

株式市場は不安定な展開となっていますが、ハリス・アソシエイツ社では、引き続き、独自のファンダメンタルズ調査に基づき、企業の持つ本源的価値を大幅に下回る価格で取引されていて、かつ経営陣が実質オーナーとしての自覚を持って行動しているような質の高い企業を探し出して投資します。ハリス・アソシエイツ社は、株式市場の変動性の拡大の結果として生じる一時的な株価のミスプライス(過大評価や過小評価)を見出そうとしています。どのような市場環境であっても、ハリス・アソシエイツ社はお客様の資金を長期的に成長させることに注力致します。

今後とも引き続き、当ファンドをご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

■本資料は、朝日ライフ アセットマネジメント(以下、当社といいます)が、情報提供を目的として作成したものであり、当該商品の勧誘を目的としたものではありません。また、法令に基づく開示資料ではありません。■当該ファンドは価格変動リスクや流動性リスク等を伴う証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には為替リスクもあります。)ので、市場環境等によって基準価額は変動します。したがって投資元本が保証されているものではありません。運用による損益はすべて投資家のみなさまに帰属します。■本資料は当社が信頼できると判断した情報を元に、十分な注意を払い作成しておりますが、当社はその正確性や完全性をお約束するものではありません。■本資料に記載されている内容は、今後予告なしに変更することがあります。■ファンドの取得の申し込みにあたっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので、必ず内容についてご確認の上、お客様ご自身でご判断ください。■当該ファンドは、金融機関の預金または保険契約ではありませんので、預金保険、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関でご購入いただいた場合は、投資者保護基金による支払いの対象にはなりません。 2025-04-42

■投資信託に係るリスクについて

投資信託は、主に国内外の株式や公社債等の値動きのある証券を投資対象とし投資元金が保証されていないため、当該資産の市場における取引価格の変動や為替の変動等により投資一単位当たりの価値が変動します。従ってお客様のご投資された金額を下回ることもあります。

又、投資信託は、個別の投資信託毎に投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なりますので、ご投資にあたっては投資信託説明書(交付目論見書)をよくご覧ください。

■投資信託に係る手数料等について

[ご投資頂くお客様には以下の費用をご負担いただきます。]

■申込時に直接ご負担いただく費用 …… 申込手数料 上限 3.3%(税抜 3.0%)

■換金時に直接ご負担いただく費用 …… 信託財産留保額 上限 0.3%

■投資信託の保有期間中に間接的にご負担いただく費用

…… 信託報酬 上限 2.035%(税抜 1.85%)

■その他の費用 …… 上記以外に保有期間等に応じてご負担頂く費用があります。

詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)でご確認ください。

《ご注意》

上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率等につきましては、朝日ライフ アセットマネジメントが運用するすべての投資信託が徴収するそれぞれの費用のうち、最高の料率を記載しております。投資信託に係るリスクや費用は、それぞれの投資信託により異なりますので、ご投資をされる際には、事前によく投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

朝日ライフ アセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第 301 号

加入協会：一般社団法人投資信託協会/一般社団法人日本投資顧問業協会

■本資料は、朝日ライフ アセットマネジメント(以下、当社といいます)が、情報提供を目的として作成したものであり、当該商品の勧誘を目的としたものではありません。また、法令に基づく開示資料ではありません。■当該ファンドは価格変動リスクや流動性リスク等を伴う証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には為替リスクもあります。)ので、市場環境等によって基準価額は変動します。したがって投資元本が保証されているものではありません。運用による損益はすべて投資家のみなさまに帰属します。■本資料は当社が信頼できると判断した情報を元に、十分な注意を払い作成しておりますが、当社はその正確性や完全性をお約束するものではありません。■本資料に記載されている内容は、今後予告なしに変更することがあります。■ファンドの取得の申し込みにあたっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので、必ず内容についてご確認の上、お客様ご自身でご判断ください。■当該ファンドは、金融機関の預金または保険契約ではありませんので、預金保険、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関でご購入いただいた場合は、投資者保護基金による支払いの対象にはなりません。 2025-04-42

2025年4月7日

朝日ライフ アセットマネジメント株式会社

国内株式市場の動向と今後の見通し ならびに基準価額の変動に関するお知らせ

《国内株式市場の動向》

4月7日の国内株式市場は、先週末米国株式市場が下落する中、保険・証券・銀行などの金融株や電気機器・機械などの外需株主導で下落し、日経平均株価が前日比2,644.00円安(▲7.83%)の31,136.58円、TOPIX(東証株価指数)が前日比193.40ポイント安(▲7.79%)の2,288.66ポイントとなりました。

4日の米国株式市場は、トランプ米政権が2日に発表した相互関税政策が市場の予想よりも厳しい内容であったことから、米国内で関税がインフレに与える影響と景気減速への警戒感に加え、中国政府が報復措置として米輸入品への追加関税を発表したことで、関税の応酬が懸念されたことから、NYダウ平均株価は前日比▲2,231.07ドル安、ナスダック総合株価指数は同▲962.82ポイント安と大きく下落しました。

本日の国内株式市場は、こうした米国株式市場の下落を受けてリスク回避の動きが強まったことに加えて、①関税の応酬により、世界経済のリセッション懸念や日本企業の業績見通しなどの不透明感が高まったこと、②長期金利が1.1%台前半まで低下し、これまで金利上昇により買われていた銀行株が売られたことなどから、ほぼ全面安の展開となりました。

《基準価額の変動状況》

国内株式市場の下落に伴い、以下のファンドが前日比で5%超の下落となっております。

| ファンド名 | 基準価額 | 前日比 | 騰落率 |
|----------------------------|----------|----------|--------|
| A L A M C O S R I 社会貢献ファンド | 8,920 円 | ▲643 円 | ▲6.72% |
| A L A M C O 日経平均ファンド | 8,169 円 | ▲700 円 | ▲7.89% |
| A L A M C O D C日経平均ファンド | 35,889 円 | ▲3,078 円 | ▲7.90% |
| A L A M C O クオオンツ 日本株オープン | 8,686 円 | ▲712 円 | ▲7.58% |
| A L A M C O リサーチ 日本株オープン | 8,878 円 | ▲738 円 | ▲7.67% |
| ハリス日本株ファンド (資産成長型) | 10,069 円 | ▲721 円 | ▲6.68% |
| ハリス日本株ファンド (年4回決算型) | 9,005 円 | ▲643 円 | ▲6.66% |

《今後の見通し》

今回トランプ政権が発表した相互関税は、全ての国への10%の追加関税が5日に発動となり、国ごとの上乘せ関税も9日に発動する予定です。また、中国の報復関税も10日に発動する予定であり、しばらくは関税政策による世界経済への悪影響が警戒されて変動性が高い展開が続くとみています。しかしながら、相互関税の発表以降、50カ国以上が通商協議の開始を米国に働きかけていることをトランプ政権が明らかにしたことや、石破首相がトランプ大統領との電話会談を模索していることなど、今後、米国と各国との関税率の引き下げに向けた交渉が行われると見られ、交渉開始などのニュースが伝わることで過度な警戒感も和らぎ市場は徐々に落ち着きを取り戻すとみています。

以上

■本資料は、朝日ライフ アセットマネジメント（以下、「当社」といいます。）が、情報提供を目的として作成したものであり、当該商品の勧誘を目的としたものではありません。また、法令に基づく開示資料ではありません。■当該ファンドは価格変動リスクや流動性リスク等を伴う証券等に投資します（外貨建資産に投資する場合には為替リスクもあります。）ので、市場環境等によって基準価額は変動します。したがって投資元本が保証されているものではありません。運用による損益はすべて投資家のみなさまに帰属します。■本資料は当社が信頼できると判断した情報を元に、十分な注意を払い作成しておりますが、当社はその正確性や完全性をお約束するものではありません。■本資料に記載されている内容は、今後予告なしに変更することがあります。■ファンドの取得の申し込みにあたっては、投資信託説明書（交付目論見書）をお渡ししますので、必ず内容についてご確認の上、お客様ご自身でご判断ください。■当該ファンドは、金融機関の預金または保険契約ではありませんので、預金保険、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関でご購入いただいた場合は、投資者保護基金による支払いの対象にはなりません。2025-04-55

■投資信託に係るリスクについて

投資信託は、主に国内外の株式や公社債等の値動きのある証券を投資対象とし投資元金が保証されていないため、当該資産の市場における取引価格の変動や為替の変動等により投資一単位当たりの価値が変動します。従ってお客様のご投資された金額を下回ることもあります。

又、投資信託は、個別の投資信託毎に投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なりますので、ご投資にあたっては投資信託説明書(交付目論見書)をよくご覧ください。

■投資信託に係る手数料等について

[ご投資頂くお客様には以下の費用をご負担いただきます。]

- 申込時に直接ご負担いただく費用 …… 申込手数料 上限 3.3%(税抜 3.0%)
- 換金時に直接ご負担いただく費用 …… 信託財産留保額 上限 0.3%
- 投資信託の保有期間中に間接的にご負担いただく費用
…… 信託報酬 上限 2.035%(税抜 1.85%)
- その他の費用 …… 上記以外に保有期間等に応じてご負担頂く費用があります。
詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)でご確認ください。

《ご注意》

上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率等につきましては、朝日ライフ アセットマネジメントが運用するすべての投資信託が徴収するそれぞれの費用のうち、最高の料率を記載しております。投資信託に係るリスクや費用は、それぞれの投資信託により異なりますので、ご投資をされる際には、事前によく投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

朝日ライフ アセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第 301 号

加入協会：一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

■本資料は、朝日ライフ アセットマネジメント（以下、「当社」といいます。）が、情報提供を目的として作成したものであり、当該商品の勧誘を目的としたものではありません。また、法令に基づく開示資料ではありません。■当該ファンドは価格変動リスクや流動性リスク等を伴う証券等に投資します（外貨建資産に投資する場合には為替リスクもあります。）ので、市場環境等によって基準価額は変動します。したがって投資元本が保証されているものではありません。運用による損益はすべて投資家のみなさまに帰属します。■本資料は当社が信頼できると判断した情報を元に、十分な注意を払い作成しておりますが、当社はその正確性や完全性をお約束するものではありません。■本資料に記載されている内容は、今後予告なしに変更することがあります。■ファンドの取得の申し込みにあたっては、投資信託説明書（交付目論見書）をお渡ししますので、必ず内容についてご確認の上、お客様ご自身でご判断ください。■当該ファンドは、金融機関の預金または保険契約ではありませんので、預金保険、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関でご購入いただいた場合は、投資者保護基金による支払いの対象にはなりません。2025-04-55

この資料は情報提供を目的として作成したものであり、特定の商品の投資勧誘を目的として作成したものではありません。

金融商品取引法に基づきお客様にご留意いただきたいリスク等を以下に記載させていただきましたので、必ずお読み下さい

むさし証券の概要

商号等：むさし証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第105号

加入協会：日本証券業協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会

手数料等諸費用について

- ・ 国内上場株式等の売買等にあたっては、約定代金に対し、最大1.243%（税込）（但し、最低手数料2,750円（税込））の委託手数料をお支払いいただきます。
- ・ 外国上場株式等の売買等にあたっては、約定代金に対し、2.200%（税込）（但し、最低手数料5,500円（税込））の委託手数料をお支払いいただきます。
- ・ 国内および外国上場株式等を募集等、または相対取引により購入するにあたっては、購入対価のみをお支払いいただきます。
- ・ 債券を募集、売出し等、または当社との相対取引により購入するにあたっては、購入対価のみをお支払いいただきます。（但し、購入対価に別途、経過利息をお支払いいただく場合があります。）
- ・ 投資信託の売買等にあたっては、銘柄ごとに設定された各種手数料等（直接的費用として購入時に最大3.85%の購入時手数料（税込み）、解約・償還時に最大0.50%の信託財産留保額、間接的費用として最大年率3.80%の運用管理費用（信託報酬）、及びその他の費用等）をお支払いいただきます。
- ・ 外貨建て商品の売買、償還等にあたり、円貨と外貨を交換する際には、外国為替市場の動向をふまえて当社が決定した為替レートによるものといたします。

リスクについて

- ・ 各商品等には、株式相場、金利水準、為替相場、不動産相場、商品相場等の変動に伴い、価格等が変動することによって損失が生じるおそれがございます。
- ・ 各商品等には発行者の信用状況等（財務・経営状況を含む）の変化およびそれらに関する外部評価の変化等により、損失が生じるおそれがございます。また発行者の信用状況等によっては、利金・償還金等の支払いの遅滞・不履行が生じるおそれがございます。
- ・ 新株予約権、取得請求権等が付された上場有価証券等については、これらの権利を行使できる期間に制限がございます。
- ・ 各商品等が外貨建てである場合、為替相場（円貨と外貨の交換比率）が円高になる過程では円貨換算した価値は下落し、逆に円安になる過程では円貨換算した価値は上昇することになります。したがって、為替相場の状況によっては為替差損が生じるおそれがございます。
- ・ 信用取引またはデリバティブ取引等を行う場合、対象となる有価証券の価格又は指標等の変動により、損失の額がお客様の差し入れた委託保証金または証拠金の額を上回るおそれ（元本超過損リスク）がございます。

その他

- ・ 外国の発行者が発行する上場有価証券については、金融商品取引法に基づく開示書類が英語により記載されることがあります。該当する上場有価証券は日本証券業協会のホームページ（<http://www.jsda.or.jp/shiraberu/foreign/meigara.html>）でご確認いただけます。

商品毎に手数料等およびリスクは異なりますので、当該商品等の契約締結前交付書面、目論見書等またはお客様向け資料の内容を十分お読みいただき、投資に関する最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。